

令和6年6月7日

岡山県産業労働部
産業振興課地域産業班
担当：森下・竹内
(内線 5183・5187)
電話：086-226-7352

お知らせ

「新分野進出支援事業 ハンズオン（伴走型）支援」の募集開始！

県では、CASE や EV シフトの急速な進展に伴い、特に内燃機関係部品を扱うサプライヤーにおいては、自社製品ニーズが減少することが予想される中で、県内自動車関連企業が新たな分野に挑戦し、新市場の開拓や経営の多角化を図ることを目的に、次のとおり新分野進出の伴走支援を希望する企業の募集を開始します。

(委託先：公益財団法人岡山県産業振興財団)

なお、本件については、県政記者クラブ及び経済金融記者クラブへ同時にお知らせしております。

記

- 1 支援対象者** 県内に事業所を有する自動車関連事業を行う中小企業 または、岡山県自動車関連企業ネットワーク会議加入企業
- 2 支援内容**

新分野展開における将来目標に向けた取組について、製品開発を得意とする専門家による伴走支援を行うことで、本事業終了後も継続した活動が可能な体制を目指します。

(1) **A ビジネスプラン作成コース** - 定員4社
長期的なビジネスプランの達成に向けて、困りごとを起点としたアイデア出しからコンセプト立案・事業プラン作成までを支援。

(2) **B 新製品開発コース** - 定員1社
アイデアを形にするため、上記(1)の内容に加え事業化に向けた試作・製品開発までを支援。
- 3 支援期間** 支援企業選考後～令和7年3月10日(月)まで
- 4 募集期間** 令和6年6月7日(金)～6月28日(金)17時まで
https://www.optic.or.jp/okayama-ssn/event_detail/index/3279.html
- 5 募集方法** 別紙募集要項をご確認の上、申請書類ご提出ください。
- 6 申請先** (公財)岡山県産業振興財団
- 7 問合せ先** (公財)岡山県産業振興財団 ものづくり支援部 研究開発支援課
担当：勝野、小西
TEL 086-286-9651 FAX 086-286-9676 MAIL jidousya@optic.or.jp

令和6年度新分野進出支援事業 ハンズオン（伴走型）支援
募集要項

1 事業趣旨

CASE やEV シフトの急速な進展など、自動車産業を取り巻く環境が大きく変化している中、特に内燃機関係部品を製造するサプライヤーにとっては、自社製品ニーズが減少することが予想される。

こうした状況の中において県内サプライヤーは新たな分野に挑戦し、新市場の開拓や経営の多角化を図ることが不可欠であることから、本事業では、新分野進出や新規事業を始めるにあたっての長期的なビジネスプランの達成を目指した伴走支援を行います。

2 支援内容

新分野展開における将来目標に向けた取組について、製品開発を得意とする専門家による伴走支援を行うことで、本事業終了後も継続した活動が可能な体制を目指します。

(1) A ビジネスプラン作成コース

長期的なビジネスプランの達成に向けて、困りごとを起点としたアイデア出しからコンセプト立案・事業プラン作成までを支援する。

(2) B 新製品開発コース

アイデアを形にするため、上記(1)の内容に加え事業化に向けた試作・製品開発までを補助金の活用も検討しながら支援する。

3 支援対象者

中小企業基本法（昭和38年7月20日法律第154号）第2条に規定する中小企業者であり、岡山県内に事業所を有し、自動車関連の事業を行っている企業とする。そのほか、岡山県自動車関連企業ネットワーク会議に加入する企業については、企業規模を問わず、対象とする。

4 支援期間

支援企業選考後～令和7年3月10日まで

5 費用負担

本事業の実施に要する伴走支援の専門家に関する経費（謝金および旅費等）について、公益財団法人岡山県産業振興財団（以下、「財団」という。）が支給することとし、原則として企業負担は下記のとおりとする。なお、企業が事業計画を実行するために要する諸経費（試作費用等）は企業負担とする。

(1) A ビジネスプラン作成コース

無料

(2) B 新製品開発コース

120,000円（税抜）

6 募集企業数

(1) A ビジネスプラン作成コース

4社

(2) B 新製品開発コース

1社

7 申請方法

(1) 提出書類

下記の書類を募集期間内に財団にメールにて提出してください。

- ①申請書（様式第1）
- ②その他参考となる書類（会社のパンフレット等）
- ③アイデアシート ※B 新製品開発コースへ申請する企業のみ提出

(2) 提出先

〒701-1221 岡山市北区芳賀 5301 テクノサポート岡山3階
（公財）岡山県産業振興財団 ものづくり支援部 研究開発支援課 担当：勝野・小西
TEL 086-286-9651 FAX086-286-9676 E-mail jidousya@optic.or.jp

(3) 募集期間

令和6年6月7日（金）～6月28日（金）午後5時まで

8 支援先企業選考方法

(1) 書面選考

募集期間中に申請があった事業者について、財団が書類選考を行います。

(2) 面談選考

書類選考で選定された企業について、専門家および財団との三者面談による選考を行い、支援先企業を選定します。

(3) 選考項目

選考は下記の観点から行います。

- ①新分野展開への意欲を有していること。
- ②伴走支援の効果が得られるよう、経営者をリーダーとして構成されたチームが専門家と密な連携を図ることができ、事業の実現可能性があること。
※B 新製品開発コースについては、経営者、その他準ずる人の参加を必須とします。
- ③経営者だけでなく、主体的に取り組む従業員がおり、本事業終了後も取組が根付く組織体制になっていること。

(4) 選考結果

支援先企業については、伴走支援決定通知書（様式第2）にて通知します。

9 その他の留意事項

(1) 企業の対応義務

支援先企業は、下記の義務に対して責任をもって対応していただく必要があります。

- ①当事業が円滑かつ効果的に実施できるよう、伴走支援を行う専門家や財団に対して、協力精神をもって実施すること。
- ②事業終了後は支援内容等報告書（様式第3）にて、財団に成果の報告をすること。

(2) 支援成果の公表

本事業を通じて行った支援の内容について、他の企業や支援機関などに対する普及啓発のため各種報告会等を通じて広く公表させていただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。

(様式第1)

公益財団法人岡山県産業振興財団
理事長 小林 健二 様

(申請者)
所在地(住所)
企業名
代表者役職 氏名

印

令和6年度新分野進出支援事業 ハンズオン（伴走型）支援
申請書

上記事業について、募集要項第7の規定により、関係書類を添えて申請します。

記

1. 申請の内容

次ページのとおり

2. 添付書類

(1) その他参考となる書類

(2) 別紙「アイデアシート」 ※B 新製品開発コース申請のみ

1. 申請者の概要

所在地（住所）	〒 -		
企業名			
申込責任者 連絡先	(役職) (E-mail) (TEL)	(氏名) (FAX)	
資本金・出資金	円		
従業員数	人	設立	年 月
売上（直近）	千円	うち自動車関連 が占める割合	%
主たる業種	<input type="checkbox"/> ①鋳造・鍛造 <input type="checkbox"/> ②プレス・板金 <input type="checkbox"/> ③溶接・製缶 <input type="checkbox"/> ④切削・研削 <input type="checkbox"/> ⑤樹脂成形 <input type="checkbox"/> ⑥複合材加工 <input type="checkbox"/> ⑦塗装・表面処理 <input type="checkbox"/> ⑧熱処理 <input type="checkbox"/> ⑨金型・治工具 <input type="checkbox"/> ⑩電気・電子機器 <input type="checkbox"/> ⑪設計 <input type="checkbox"/> ⑫金属形成 <input type="checkbox"/> ⑬工具 <input type="checkbox"/> ⑭ゴム <input type="checkbox"/> ⑮試験・検査 <input type="checkbox"/> ⑯機械要素 <input type="checkbox"/> ⑰運送 <input type="checkbox"/> ⑱サービス業 <input type="checkbox"/> ⑲その他（ ）		
主要製品 (自動車関連)			

2. 誓約

- (1) 私（法人の場合は、代表者、役員又は実質的に経営を支配する者。以下同じ）は現在又は将来にわたって、暴力団、暴力団員、暴力団員でなくなった時から5年を経過しない者、暴力団準構成員、暴力団関係企業、総会屋、社会運動標ぼうゴロ、政治運動標ぼうゴロ、特殊知能暴力集団、その他反社会的勢力（以下「暴力団等反社会的勢力」という。以下同じ）に該当しないことを表明・確約します。
- (2) 私は現在又は将来にわたって、自ら又は第三者を利用して、①暴力的な要求行為、②法的な責任を越えた不当な要求行為、③取引に関して脅迫的な言動をし、又は暴力を用いる行為、④風説を流布し、偽計若しくは威力を用いて貴財団の信用を毀損し、又は貴財団の業務を妨害する行為、⑤その他これらに類する行為を行っていないことを表明・確約します。
- (3) 私が上記のいずれかを満たさないと認められることが判明した場合又はこの表明・確約が虚偽の申告であることが判明した場合は、本支援を中止されても異議を申しません。これにより損害が生じた場合でも、一切私の責任といたします。
- (4) 私は、私が暴力団等反社会的勢力でないことを確認するために、貴財団が行う調査に協力するとともに、必要に応じて本要請書に記載された情報を貴財団が専門機関（岡山県警察・公益財団法人岡山県暴力追放運動推進センター等）に照会することに同意します。

3. 支援を求める理由・内容 ※適宜行数を増やして記載ください。

(1) 現在の事業内容

(2) 新分野進出・新規事業展開における課題について

(3) 専門家に求める支援内容・期待する効果

(4) 新分野進出・新規事業展開の経験について

- ・過去にトライしたことがあるか
- ・その時は、どのような体制で結果はどうなったのか

(5) 事業推進体制について

※別紙などを添付していただいても構いません。

※B 新製品開発コースへ申請する企業のみ提出（別紙）

アイデア・シート

テーマ「

」

項目	説明	内容
商品像 (Product)	・どんな商品なのか	
特長・面白さ・使い方 (Function)	・どういった点が特長か	
顧客ターゲットと使用シーン (Target, Context)	・どういった人たちが、ど ういった場面で使うのか	
現状方法、既存方法の問題点・ 課題 類似製品 (Needs)	・今はどのようなやり方を しているのか、それは何が 問題なのか？ ・似たような商品は世の中 に無いのか？	
世の中の流れ 市場動向 (Opportunity)	・追い風となる世の中の流 れ・市場動向はどのような 動きがあるのか	